

● 広報

おくし



2022

N O . 8 0 7

令和2年度白い森の国ふさとめぐにフォトコンテスト 一般の部 最優秀賞 「いにしえ」 鈴木咲良さん

関係人口の輪が広がる 白い森SDS発表会 こだわり食材フェア交流会

特産品の購入や訪問などで、小国町に深く長く関わってくれるファンの輪を広げるため、町では様々な取り組みを行っています。

今年度からスタートした白い森SDS（サステイナブルデザインスクール）では、11月23日に東京都内で最終プログラムを実施し、受講生から今後の町との関わり方プランが発表されました。

会場には小国町やこのスクールに関心をお持ちのかたなどが集まり、白い森おぐにの話題で盛り上がりしました。

また、11月29日から12月4日までの間、東北の食材を取



▲SDS受講生が町との関わり方プランを発表



▲町内産食材のメニューで町をPR

り扱っている飲食店「トリレジオン」の東京赤坂店と仙台店において、小国の食材を使ったオリジナルメニューを提供するこだわり食材フェアを開催しました。最終日には東京赤坂店で、小国町の生産者とファンが一同に会する交流会を開催し、町の魅力と食材のPRを行いました。

町ではこれからも、白い森おぐにの魅力を多くのかたにお届けし、小国町に関心をお寄せいただけるかたがたの輪を広げていきたいと思っています。

喫していました。

クラウドファンディングに挑戦中！！

令和2年3月の白い森まるごと塾vol.12は、「クラウドファンディングやってみよう」というテーマで開催しましたが、今まさに小国町のプロジェクトがクラウドファンディングに挑戦しています。ぜひ皆さんも、新しいチャレンジを応援してください。

OGUNI 白い森 ニュース

白い森「おぐに」の『ひみつきちプロジェクト』

小国高校生が中心となって空き家を改装し、子どもからお年寄りまで集まるみんなの遊び場『ひみつきち』を作るプロジェクト



300年以上続く「桜川酒造」に併設した酒蔵図書館・テレワーク拠点を創出

桜川の酒蔵を改築して整備を進めている交流拠点「SAKURAGAWAKAMOS“Q”uare（サクラガワカモスクエア）」に図書館／カフェ機能などを持たせるプロジェクト



謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私たちは今、新型コロナウイルスの出現によって、コロナが流行する前の生活に戻るのではなく、新しい日常へ取り組む「ニューノーマル」への移行が求められています。これを本町の住民生活と産業振興の実態と併せ、望ましい姿を模索していかねければならないものと認識しております。

昭和45年の「過疎地域対

年頭のあいさつ

小国町長 仁科 洋一



策緊急措置法」以降、本町では総合的かつ計画的に過疎対策事業を実施し、町は大きく発展を遂げてきました。現状は公共施設の整備水準など、依然として全国との格差が存在しており、担い手不足など様々な課題が深刻化しています。

このため、第五次小国町総合計画基本構想で示した将来像の実現と過疎対策の推進に向け、令和3年9月、「小国町過疎地域持続的発展計画」を策定しました。

中でも、地方創生の拠点となる「次期総合センター」整備を本格化するとともに、

多面的な地域間交流を促し、新たな産業の創出等に寄与する新潟山形南部連絡道路「小国道路」の建設促進に向け引き続き活動を展開してまいります。

加えて、複数の仕事に携わる働き方である「マルチワーク」を行う特定地域づくり事業協同組合が令和3年10月に設立され、活動を展開しています。県内でも初めてとなる、この取り組みなどを通じ、移住定住の促進と協働人口の拡大を目指してまいります。

そして、5年後、10年後、町民の皆さまが輝いている小国町を築いていくためには、町民や民間の力が必要不可欠であります。町民の皆さまとともに「わくわくするまちづくり」に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

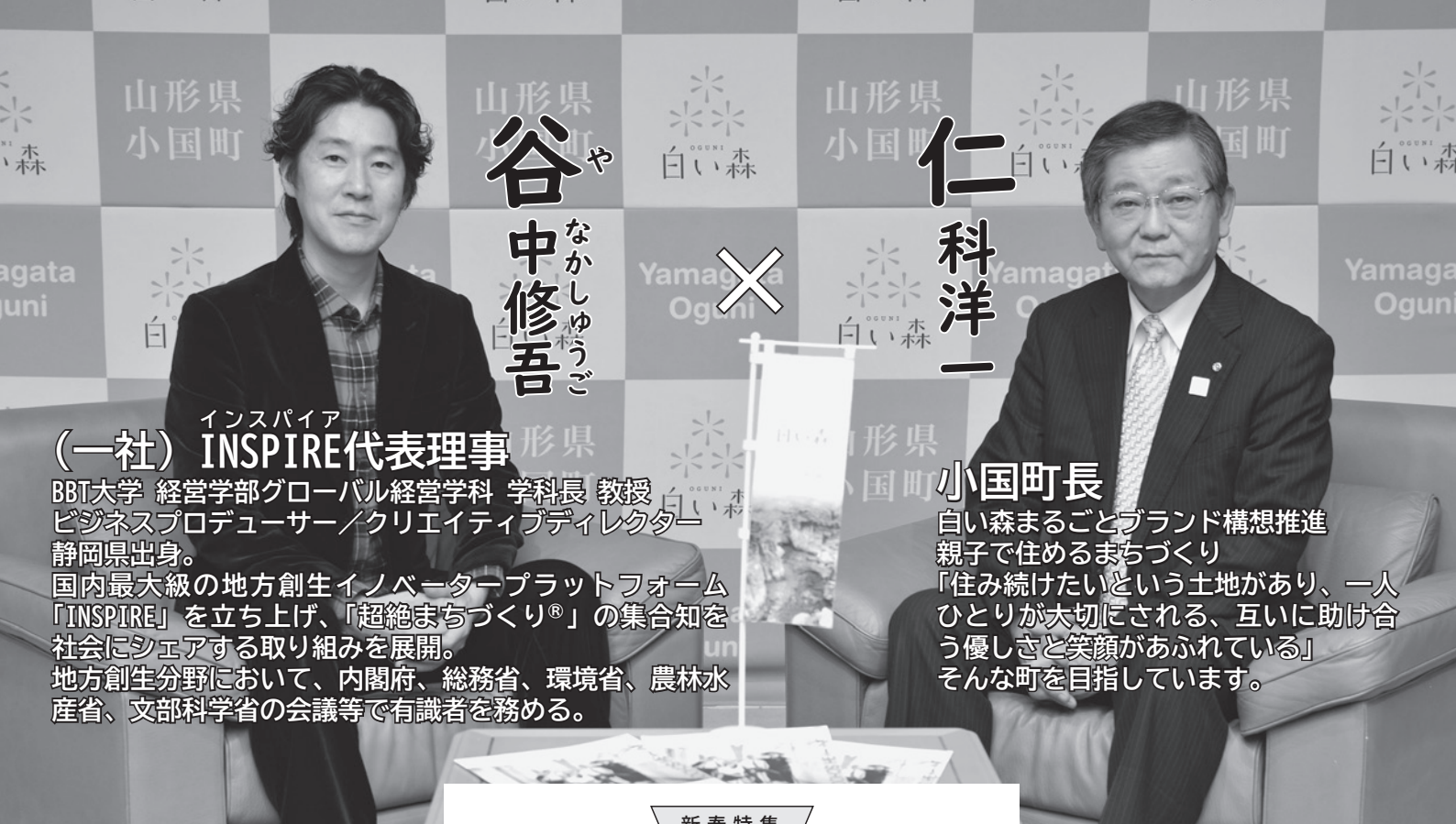
本年が皆さまにとって希望に満ちた輝かしい1年でありますよう、心からお祈り申し上げます。



▲（一社）YOKAMOS（井上昌樹代表理事）が桜川酒造（株）の酒蔵を改装したテレワーク拠点を来春にオープン



▲小国☆地域みらい塾2期生が伊佐領地区ハロウィンパーティーを開催



山形県
小国町
谷中修吾

山形県
小国町
仁科洋一

インスパイア
(一社) INSPIRE代表理事

BBT大学 経営学部グローバル経営学科 学科長 教授
ビジネスプロデューサー／クリエイティブディレクター
静岡県出身。

国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム
「INSPIRE」を立ち上げ、「超絶まちづくり®」の集合知を
社会にシェアする取り組みを展開。

地方創生分野において、内閣府、総務省、環境省、農林水
産省、文部科学省の会議等で有識者を務める。

小国町長

白い森まるとブランド構想推進
親子で住めるまちづくり

「住み続けたいという土地があり、一人
ひとりが大切にされる、互いに助け合
う優しさと笑顔があふれている」
そんな町を目指しています。

新春特集

超絶まちづくり®から

小国の未来を考える

全国各地で人口減少が進んでおり、小国町も同様の状況です。その対策として、様々な移住定住施策を進めているところですが、その一つに町外からの通勤や通学者が町に頻繁に訪れ、地域に関わるかたなど、他の地域に居住しながらも本町で活動するかたがたを『協働人口』と位置づけ、その拡大を含めたまちづくりを展開しています。

一方、今年度、町では特徴が埋もれがちな地域資源をプロデュースして、突き抜けたコンセプトにより発信する人材を育てる「小国まちづくりメディアラボ」を実施しました。講師の谷中修吾氏は地域にオンリーワンの価値を生み出す「超絶まちづくり®」を提唱されており、本町のまちづくりにも大いに参考になる考え方といえます。そこで、今月は、仁科町長と谷中氏が対談し、新しい年の幕開けにふさわしく、白い森おぐにのまちづくりの未来について語り合いましたので、その概要をお知らせします。

町長 当町の水資源に着目した企業が発電所を作り発展したことで、本町は企業城下町として豊かな町になりました。その後、リーマンショックが平成20年に起こり、その波に本町の経済も影響を受け、中核企業の売上が落ち、町を離れる人が増えました。現在は回復してきていますが、ここ4、5年前までは、その影響もあり、採用募集に人が集まらない状況が続いていました。さらに、本町は中核企業の関係者で人口の半分ほどが構成されています。そのため、人口が5千人を下回った時に中核企業の維持が難しくなり、町の存続も同時に厳しくなるのではないかと考えています。中核企業を支え、その中で受け継がれた文化や郷土料理を含めたものを、ブランド化して外にPRを行う。

小国の未来を考える

それが「白い森まるごとブランド構想」です。

現在は、当町のマタギ文化に注目が集まっていると感じています。角川ドワンゴ学園が運営する「N高校」の研修授業の中で、小国のマタギ体験研修の人气が非常に高いことなどからも、マタギ文化のポテンシャルは大きいと考えています。

谷中氏

今回、私が講師を務

めた「小国まちづくりメデアラボ」の参加者の皆さんは感度の高いかたが多く、グローバルや首都圏を意識した視点を持っている印象を受けました。これは、新しい感覚をもって町を発信できることに



つながると思います。今回の講座で大事にしている

ことは、地域をきれいに発信することではなく、目的を達成するために、地域の何を切り取り、どのように価値をつけて発信するか。それを実現するのが、プロデューサー目線の「突き抜けたアイデア」です。1700を超える全国の自治体の中で小国町を選ぶ、好きになるためにオンラインワンの価値を生み出すために重要なものだと考えています。

町長

地元には昔からあるもの

の価値を高め、外の人が認めてくれて定着していくものがブランド化になるのではないのでしょうか。

谷中氏

今あるものの価値

を再定義することですね。新しいものをつくるのではなく「こう見るとこうい

う価値がある」という予想しなかった切り取り方があれば、

すぐく面白いのではないのでしょうか。また、デジタルファーストの時代、みんなが「小国町」を検索します。デジタル上で「白い森」が「山形県の小国町」であることを認知してもらい、「他県の小国町」と混同されないことも必要だと思います。

町長

「突き抜けたアイデア」面白いですね。ただ、

一気に突き抜けたことをしても「なにをやっているんだ」ということもありますよね。受け入れる側の感覚も重要だと思います。

当町では、協働人口という考え方でまちづくりを進めています。現在、桜川酒造の酒蔵を改築して、協働人口の拡大の起爆剤としても期待されるワ



谷中氏

町長が話されたよ

うな「今あるものからストーリーを紡ぐ」いわゆる「編集力」が地域を発信するために必要だと思います。「こんな小国があります。」「たら面白い」「ひらめいたら面白い」というアイデア先行は大歓迎。しかし、それだけではダメで、突き抜けたアイデアに地域のこれまでの文脈を紐付けることが必要であり、その点を大事にしています。

近年、「関係人口」とい

小国の未来を考える

言葉がよく使われていますが、曖昧な概念なので、次のように区分してとらえるのが適切です。

- ①地域づくりに参加する人
- ②特産品を購入する人
- ③他地域居住で地域に関わる人

この3者のニーズはバラバラであり、一口に係人口の拡大といっても、対策は大きく変わってきます。その点、小国町は「協働人口」①地域づくりをする人口②に焦点をあて、施策を展開しているのは、素晴らしいと思います。

さて、協働人口の拡大には「この人と一緒にやりたい」という熱量が非常に大事だと思います。地域づくりを楽しそうにやっている人のところに人は集まります。「こんなことをやっているよ!」というワクワク感も重要ですね。これが協働人口を集めるための鍵になると思います。

町長 様々なアドバイスを頂戴し、ありがとうございます。本町が第5次総合計画の中で、目指す町の将来像に「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに」を掲げています。そのために、先を見る目、投資をするタイミング、そして難しいですが、一番重要なのが意見を聞くということです。意見を聞いているのだけれど、優柔不断だと受け取られることもあり難しいと感じています。この3つが行政の中で重要だと考え、今後もこれまで以上に町民に寄り添ったまちづくりを展開していきます。また、白い森まるごとブランド構想を進め、先ほどの谷中先生の話にもあったように、他の市町村との差別化を図り、「白い森」山形県小国町」となるように目指していきます。

Oguni Walker 近日公開!!

これからの地域をワカモノが力を伸ばすための場を創出するワカモノプロジェクトの一環として開催された「小国まちづくりメディアラボ」。全8回の講座に11人のワカモノが「地域を発信するメディアプロデューサーになる」を目標に参加し、注目が集まりがちな「写真のきれいさ」や「動画の見やすさ」などのクリエイター技術ではなく、地域としての目的に合わせた「企画全体の設計・運営を行う＝プロデューサー」としての技術を習得しました。

ラボの参加者が、地域にすむワカモノとして小国の良さを切り取りPRするWEBページが近日公開予定です。公開日が決まり次第、町広報やホームページ等で紹介しますので、ワカモノたちの成果をぜひご覧ください。



▲ベストな構図を探します



▲全8回の小国まちづくりメディアラボを無事修了



製作したWEBページを発表



未来をつくるSDGsマガジン 「ソトコト」指出一正 編集長 が本町の魅力を紹介



本年度、協働人口の拡大に向け、都市部の住民が本町に関係するきっかけづくりとして、サステイナブルデザインスクール（SDS）を開講しています。そのSDSを本町で一緒に手掛けているのが、指出一正ソトコト編集長です。

本誌2Pに関連事業の記事を掲載

ここ10年間、地域に関わりたいという若い人たちが爆発的に増えていました。ローカル（地域）に関心を持つ若い人たちが「この町がすごいよね」と言う「まち」と、「森と水が美しく、肥沃な大地と水の循環がなされている「まち」には共通するものがあります。そういう「まち」にはイワナとタナゴが生息しているの、私は「イワナとタナゴがいる「まち」は裏切らない」といつも言っています。小国町もイワナがいる豊かな「まち」で、私は学生時代からよく訪れています。

切で、そのために「自分の「まち」を楽しんでいる人たちが」と「そこに関わりたい人たちが」が分け隔てなく集まれる場所があるといいなと思っています。

この白い森サステイナブルデザインスクールは、まさにその場所だと考えています。スクールのロゴには2つの重なる円と山や大地が描かれており、サステイナビリティと人と人のつながり、白い森の多様で豊かな彩りを表現しています。

地域の豊かさや未来を、小国に住む人々と小国に関わってみたい人が、ともにつくり育てていくプロジェクトで、まさにいま小国で何かが起き始めている、そんな町の盛り上がりを感じています。

地域の未来をよりよくするために必要なこと

1. 関係案内所
人と人が出会い、何かが生まれる場があること
2. 未来をつくっている手応え
この先の未来を前向きにつくるための技術やプロジェクト
3. 「自分ごと」として楽しい
自分が関わっていること存在を楽しむ
4. 仲間の存在を知る
地域の中で地域に関わる人をどう増やしていくか

サステイナブルな生活を探しに





全国大会出場選手激励金交付式

全国の舞台での活躍を誓う

1月に開催される第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会に米沢中央高校の伊藤未結さん(2年)と遠藤凧咲さん(1年)が出場します。また、12月25日から開催されたJOCジュニアオリンピックカップバレーボール女子に小国中学校3年の佐藤鈴さんと杉山由菜さんが山形県代表に選抜され出場しました。12月6日、出場する選手へ町やスポーツ協会等から激励金が手渡され、出場する皆さんは大舞台での健闘を誓っていました。



遠藤凧咲さん 伊藤未結さん 佐藤鈴さん 杉山由菜さん

横根スキー場安全祈願祭

事故のない安全な運営へ

12月16日、道の駅白い森おぐにの「お母さん食堂あいあい」で横根スキー場安全祈願祭が行われ、来場者と同スキー場のシーズン中の無事故を祈願しました。当日はまだスキー場に雪は積もっていませんでしたが、翌17日からの降雪により積雪が増えています。本年2月の冬季北京五輪の開催に合わせ、ウィンタースポーツが盛り上がり、多くの来場者で賑わうことが期待されます。



生産者の想いを知り味も格別

まるごとおぐに給食



メニューはたかきびご飯にイワナの甘露煮、ゼンマイの煮つけ、ワラビとナメコの味噌汁

11月30日、町立各小中学校で給食の全4品に町内産食材を使った「まるごとおぐに給食」が提供されました。小国小学校では、給食の前に5年生を対象にした小国町野菜生産組合との交流会を行い、同組合の金恵利子さん(小渡)から農薬をなるべく使わない安全で安心して食べられる野菜づくりの話を聞きました。自分たちの給食の野菜がどのように作られているかを知って食べるその味は格別でした。

小国☆地域みらい塾 第2期卒業!!

ワカモノの力で地域を元気に



若者の斬新なアイデアをまちづくりに結びつけようと開催された「小国☆地域みらい塾」。第2期は18人の若者たちが参加し、各チームごとにプロジェクトを立ち上げ、それぞれ実践までチャレンジしました。限られた時間の中で、参加者は目的をもって自主的に打合せを重ね、見事に実践しました。11月25日に行われた最終報告会では、プロジェクトの説明と、実践した感想について、振り返りが行われ、まちづくり・地域づくりへ新たな可能性が感じられました。



◀最終報告会の様子はこちらから

令和3年度西置賜農業賞

山口満さん・ひとみさんが受賞

令和3年度西置賜農業フォーラムが、11月26日、長井市で開催され、山口満さん・ひとみさん夫妻（大石沢）が西置賜農業賞を受賞しました。

山口さん夫妻は、環境に配慮した農業生産や身体に優しい手作りおやつ[※]の普及をはじめ、生産から販売までを行う、農業の6次産業化の模範となる優れた取り組みなど、地域農業の振興および活性化に大きく貢献された功績が評価され、受賞となりました。



令和3年度東北・北海道地区緑化推進協議会

舟山功さん 緑化功労者表彰受賞



本町の森林セラピーアテンダントとして活躍されている舟山功さん（松岡）が令和3年度東北・北海道地区緑化推進協議会の緑化功労者として表彰されました。これは、平成9年に開設された「源流の森（飯豊町）」で源流の森インタープリター（森の案内人）として積極的に活動され、平成16年から令和2年までに源流の森インタープリテーション協会長を務められたことや、本町の森林セラピーアテンダントとして森の楽しみ方や自然の魅力を広く発信したことなどの功績が認められたものです。

「今年もチャレンジの多い1年にしていきます」

地域おこし協力隊 なかはら 中原 りょう 凌

協力隊通信

series 69

新年明けましておめでとうございます！

現在住んでいる叶水が、昨年住んでいた箱口より雪が多いので、去年よりも不安な生活を送っている中原です。昨年4月に地域おこし協力隊に就任して以降、緑のふるさと協力隊のときよりも様々なことにチャレンジすることができた1年でした。

耕作放棄地を開墾し作物を育ててみたり、十三峠案内人や地域発信講座を受講したり、叶水っ子にはまってクライミングを始めたりしました。

その中でも「スパイスまみれ」こと吉岡潤一さんにコーヒーの淹れ方を教わり、様々な場面でコーヒーを淹れさせて頂いたことが強く印象に残っています。コーヒーと言ってもただ粉にお湯を注ぐのでは無く、焙煎した豆から時間をかけてゆっくりとコーヒー抽出していきます。小国高校生の1日限定カフェでは、お手伝いとして地域のかたにコーヒーを淹れることができてとても嬉しかったです。

小国町に来てから沢山の師と出会い様々なことを教わってきました。今後も学んだことを活動に活かしてみなさんのお役にたてるよう頑張っていきます！

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



▲ゆっくりと時間をかけることでより美味しく

未来に伝えたい

白い森おぐにの

文化遺産

その日 サエズ焼き

小正月行事の一つとして町内各地でおこなわれてきたサエズ（サイズ、サエジ等）焼き。雪が舞う中、正月飾りやお札を焚き、無病息災や厄除け、五穀豊穡などを祈ります。

このような小正月の火祭りは全国で広くみられ、「左義長」や「どんと焼き」など様々な地域名称が存在します。『山形県の祭り・行事』（山形県教育委員会編集発行、2004年）によれば、山形県内では「オサイド」と呼んでいるところが多いものの、「イワイワイ」（山形市や天童市、中山町など）や「サイト（ド）焼き」（南陽市や米沢市）、「ヤハハエロ」（川西町、長井市、白鷹町、飯豊町など）といった呼び名もみられます。ただし、サエズ焼きというのは本町のみようです。

います。実際に、新潟県や福島県会津地方などでは、小正月の火祭り自体を「サイノカミ」と呼び、サイノカミの祭祀と結合させておこなっている地域もあります。

そのような集落を守つてくださるサイノカミ。かつて小国小坂町では、その神聖な火を山の上でいただき、集落に作つたサエジ焼き場まで運んできていました。『ぶな文化の里 小国郷の民俗文

化伝承記』（小国町老人クラブ連合会編集発行、1997年）によると上町・中町・下町に分かれて行事をおこなっていたと言い、夕方になると若者たちがそれぞれ願念寺山、宝性院山、合向山に登り火を点（とぼ）します。そして、そこからオガラ（麻幹）で作ったタイマツに火を移し、駆け下つてきたのですが、「ゴ」神火をいただいた若衆のタイマツが、それぞれの峯を駆け下りる様は、まっ暗な夜空に点の列となり時に消え、時に



▲小坂町のサエズ焼き（昭和39年）

サエズの火であぶった餅を食べると一年健康でいられるという（写真＝小国町役場所蔵）

輝く幻想的な様は、今でも強烈に想いおこされる。」と記されています。

厳冬の闇に浮かぶサエズの炎。先人たちは、土地に宿るカミを信じ、その神火に一年の無事と集落の安寧（あんねい）を祈ってきました。形を変えつつも今に引き継がれてきたサエズ焼き。そこに息づく、そのような「地域の祈り」を未来へと伝えていきたいものです。

（教育委員会生涯学習室）

令和3年小国町議会

第8回定例会・第9回臨時会

令和3年第8回定例会が12月2日から8日まで、また、第9回臨時会が22日に開催されました。令和3年度一般会計補正予算など10議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

【第8回定例会】

一般会計に

4億422万8千円を追加

新型コロナウイルスの影響に伴い、町立病院及び老人保健施設の収益が減少したことなどに対する負担金の追加やふるさと納税の返礼品費などを追加した結果、補正後の予算総額は、72億914万4千円となりました。また、県が災害指定した「令和3年の米価下落」で収入が減少した農業者が経営安定のために借り入れた資金に対し、県と町が協調して利子補給を行うこととし、令和4年度から5年度までの利子補給に係る債務負担行為を設定しました。

移住定住促進

■移住定住促進のため交付する、

就業目的移住者支援金事業を創設し、実施していますが、本年度の交付実績が12人に達しており、今後も町内企業の採用活動が活発なことなどから支援対象者の増加が見込まれるため、既決予算を組み替え、所要額を追加しました。

【第9回臨時会】

一般会計に

4111万5千円を追加

「子育て世帯への臨時特別給付金」について当初、18歳以下の子ども1人あたり5万円分の現金と、5万円相当のクーポン券を支給することとし、12月定例会において12月28日に5万円を先行給付することとして、補正予算を追加していましたが、その後「地域の実情に応じて年内に現金で10万円を一括支給することも選択肢に加える」と指針が国から示されたことから、速やかに柔軟な利用ができるよう、12月28日に現金10万円を一括給付することとし、事務経費と合わせ追加した結果、補正後の予算総額は73億3257万9千円となりました。

令和4年度 会計年度任用職員募集

- 任用期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日の範囲内
- 試験方法 書類選考、面接試験
- 試験日 令和4年2月
- 申込方法 役場、おぐに開発総合センターおよび健康管理センターに備え付け、または町ホームページに掲載している申請書に必要事項を記入のうえ、役場総務課へ直接または郵送で提出してください。
- 受付期間 1月11日(火)～31日(月)
- 募集職種等 ①一般事務30人程度②学習支援員等15人程度③保育士等10人程度④医療技術職、看護職、福祉職等30人程度⑤技能労務職等20人程度
※詳細は、募集要項をご覧ください。
- 問合先 総務課行政管理担当 (☎62-2112) へ

冬季間の消防水利の確保 火災予防について

降雪によって、町内では冬季間における消防水利が不足します。火災発生時に、河川・側溝等の自然水利が利用できない場合、ご家庭の池等を使用させていただくことがありますのでご協力をお願いします。また、季節柄、暖房器具等による火災が発生しやすい時期でもあります。火の取り扱いには十分注意してください。

- 問合先 町民税務課 (☎62-2260)
または消防署小国分署 (☎62-2154)

小国町競争入札参加資格審査申請受付

小国町が行う建設工事、測量・建設コンサルタント、物品、役務の競争入札に参加を希望するかたは、次のとおり申請してください。

- 受付期間 2月1日(火)～28日(月)まで
- 受付時間 9:00～12:00、13:00～16:00
- 有効期間 令和4年度
(町内業者のみの受付)
- 申請方法
必要書類などの詳細については、電話または町のホームページでご確認ください。
- 受付・問合先
地域整備課建設管理室 (☎62-2431) へ

あなたの“未来”応援します!

国の教育ローン

ご融資額 **350万円以内**

(お子さま1人あたり)

【ご相談・お問い合わせ】教育ローンコールセンター

0570-008656

(または 03-5321-8656)

JFC 日本政策金融公庫

詳しくはWebで!

国の教育ローン

検索

ご入学前の
まとまった
費用の準備

固定金利・
長期返済が
可能!

40年以上の
取扱実績!

受付時間

月～金曜日 9:00～21:00
土 曜 日 9:00～17:00

※日曜日、祝日、年末年始
(12/31～1/3) はご利用
いただけません。

広告

お知らせ

令和4年度山形県みどり豊かな
森林環境づくり推進事業を募集中

やまがた緑環境税で支援する
県民参加による森づくり活
動を募集します。

■募集期間

1月4日(火)～2月4日(金)

■上限額

1団体あたり50万円

■問合せ先

置賜総合支庁森林整備課森づ
くり推進室(☎0238-35
19053)へ

※事業の実施については、令和
4年度予算の成立が前提とな
りますのでご了承ください。

固定資産税に

関するお知らせ

固定資産税は、1月1日現
在町内に所在する固定資産に
対し課せられます。固定資産
税の課税の適正化を図るた
め、次に該当するかたはご連
絡ください。

①令和3年中にお持ちの建物

を取り壊した

②令和3年中に建物を新築・
増築した(家屋調査済のか
た以外)

③所有者の名前や住所に変更
等がある

※所有する建物については、
令和3年5月14日に送付し
ている「固定資産税課税明
細書」をご確認ください。
令和3年中に建物を取り壊
したことが確認できた場合
は、翌年度から課税されな
くなります。

■問合せ先 町民税務課課税担
当(☎62-2403)へ

令和3年度第73回 小国町成人式の開催日決定

令和3年8月14日の開催か
ら延期としておりました、令
和3年度第73回小国町成人式
の開催日が新型コロナウイルス
の感染状況を鑑み、次のと
おり決定しました。

■開催日

令和4年4月30日(土)

■問合せ先

教育振興課生涯学習担当
(☎62-2141)へ



1月7日(金)から2月6
日(日)は「雪害事故防止強
化月間」です。雪による
事故被害の多くは、自宅
などの屋根の雪下ろし作
業中に発生しています。
安全な雪下ろし作業を心
がけましょう。

野生鳥獣被害対策研修会の お知らせ

野生動物の生態や被害対策を学ぶ研
修会を開催します。

■日時 1月25日(火)14:00～15:40

■会場

おぐに開発総合センター2階集会室

■講演

「身近になった野生動物！

どうしたら勝てる？」

講師：

野生生物研究所ネイチャーステーション

古谷益朗氏

(農水省登録 鳥獣被害アドバイザー)

■申込先

産業振興課森林振興担当

(☎62-2408)へ

■問合せ先

県みどり自然課

(☎023-630-3404)へ

白い森子ども応援隊募集

町内小中学校のスキー授業に協力いただけるかたを募集
しています。

■期 間 1月14日(金)～2月4日(金)

■その他 ご都合のつく日だけの協力で結構です。

協力いただけるかたは、1月11日(火)までにご連絡ください。

■問合せ先 白い森地域学校協働本部 渋谷・林
(教育振興課内☎62-2141)へ

入札結果情報(令和3年11月21日～令和3年12月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R3.12.9	令和3年度高圧蒸気滅菌装置購入	あけぼの	R4.3.31	9,000,000	㈱シバタインテック 山形支店	9,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

1月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4カ月児健診

- ・期 日 1月7日(金)
- ・受付時間 13:05~13:15
- ・対 象 令和3年8月、9月生まれ

■9・10カ月児健診

- ・期 日 1月7日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 令和3年2月、3月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 2月4日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 令和2年5月、6月、7月、8月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター(☎61-1000)へ

子育て支援センターから

■1月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)

小国町出産応援給付金交付事業のお知らせ

新生児の誕生を祝うとともに子育て家庭の家計を支援するため、県の補助のもと小国町出産応援給付金を交付します。

■対象者 下記のいずれかに該当する新生児がいる世帯

- ①令和3年4月2日から12月31日までの間に出生し、県内の市町村に出生後最初の住民登録がされ、令和4年1月1日時点で小国町に住民登録されている新生児
- ②令和4年1月1日から3月31日までの間に出生し、小国町に出生後最初の住民登録された新生児

■給付金額 新生児1人につき5万8千円

■申請方法 印鑑、申請者本人確認書類、振込先口座の確認書類をお持ちください。

■申請・受付先 健康福祉課地域保健担当(☎61-1000)へ

● 休日当番担当歯科医のお知らせ ●

1月9日(日)	南陽 伊藤歯科医院	0238-45-2030
1月10日(月)	長井 西原歯科医院	0238-84-7722
1月16日(日)	米沢 足立歯科医院	0238-23-4182
1月23日(日)	米沢 たいら歯科医院	0238-40-8404
1月30日(日)	高畠 高畠歯科クリニック	0238-58-0814

求 人 情 報

右の表は12月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

今月の納税 2022.1

1月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 1月26日(水) 水道料
- 1月31日(月) 町県民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403)へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
小国開発(株)	土木施工管理	5人	8:00~17:00
安部工業(株)	一般作業員(土木・建築)	1人	8:00~17:00
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00~17:00
	解体補助作業員	2人	
(株)アウトソーシング 庄内営業所	(派) シリコン製品の製造、機械操作	5人	8:20~16:50他
(株)高橋工務店	土木技術者	2人	8:00~17:00
	建築技術者	2人	
	現場作業員(土木・建築作業員)	2人	
斎藤建設(株)	一般作業員(土木・型枠)	2人	8:00~17:00
(株)ケイプロダクツ	ショッピングサイト受注管理	1人	9:00~18:00
猪野電気工事(株)	内線工事作業員	1人	8:00~17:00
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
荒川興業(株)	製造加工/臨時職員	1人	8:20~17:10
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職(交替制)	1人	6:45~15:45他
(株)山形銀行	銀行業務 (事務・窓口:小国町内店舗)	1人	9:00~17:00の 時間の間の5時間
日本重化学工業(株) 山形事業所 小国工場	電子材料の製造等スタッフ (アルバイト)	1人	8:15~17:15

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

総合センター図書から

～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日

◇透明な螺旋	東野圭吾
◇歴史探偵昭和の教え	半藤一利
◇炎上フェニックス	石田衣良
◇追憶の鳥	阿部智里
◇重要証人	サイラガル・サトウバイ



戸籍のまど

（11月届出分）

誕生おめでとうございます。

北 遠 藤 睦 弥（成桃 晃代）

結婚おめでとうございます。

（増岡下林松一郎
 大滝渡部育美
 河原角伊藤照幸
 宮城県松谷泉）

おくやみ申し上げます。

岩井	沢山	崎幸	雄	(87)
小国	町齋	藤ヒ	デ	(87)
叶水	渡部	功		(85)
若山	齋藤	恵美		(84)
東原	阿部	トモ子		(85)
松岡	保科	一男		(89)
緑町	小池	よ	り	(92)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和3年11月30日現在）

人口	男	3,553人	(-2)
	女	3,553人	(-9)
	計	7,106人	(-11)
世帯数		3,011世帯	(-3)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。12月中旬からの降雪により小国らしい冬になってきましたね。さて、冬で心配なのは雪道の運転や除雪作業です。道路のスリップや落雪に気をつけて日々を過ごしたいものです。今年こそはコロナが落ち着き、良い年になることを期待しましょう。本年もよろしくお願います。（仁科）

1月のあいイベント

冬休みこどもスポーツ教室



- 日時 1月6日(木)9:30～11:30
- 対象者 小学生
- 参加費 100円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物、タオルなど
- 申込締切 1月4日(火)

■申込・問合先
 （☎62-5808）へ

特定非営利活動法人
おくにYui
 スポーツクラブ

雪のお城カフェ オープン



ワカモノプロジェクト「小国☆地域みらい塾」の卒業生が中心となり、2日間限定で伊佐領地区に雪のお城をつくり、カフェを開店します。

雪像のお城の中のテーブルで、特別な冬の世界をお楽しみください。

小国町の季節が詰まった氷のお皿にデザートをお供えし、氷のキャンドルを灯します。予約制になりますので、お早めにお申し込みください。

- 日時 2月11日(金)祝～12日(土)
 （開始時間） 12:00・13:30・16:30・18:00
- 料金 入場・食事チケット 3,000円
 デザート・コーヒー・森のプレゼント付
 （当日現金払い）

■申込方法 申込サイト、電話、Eメールでお申込みください。

■申込・問合先 森のお城の番人（吉田悠斗）
 （☎090-2558-2440）
 （メール：yutorun91144511@gmail.com）へ



▼申込サイトはこちら



◀デザートイメージ



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax62-5464

●総務課 ☎ 62-2112
●観光経済室 ☎ 62-2416
●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
●国保医療担当 ☎ 62-2261
●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
●農林振興室 ☎ 62-2408
●税政管理室 ☎ 62-2403
●議会事務局 ☎ 62-2448



「止まってくれて ありがとう」
小国高校の「白い森未来探究学」で2年生の小松幸恵さんが取り組んでいるマイプロジェクトが山形新聞とYAHOOニュースに取り上げられ、話題を呼んでいます。
小松さんのマイプロジェクトのテーマは「感謝を伝える世界に」です。平日の朝30分間、高校前の国道113号の横断歩道で手作りのパネル(写真)を掲げ、ドライバーさんの安全運転へ感謝を伝えていきます。信号機がない横断歩道では、車が一時停止してくれず、なかなか渡れない自らの経験がプロジェクトテーマ設定のきっかけの一つになりました。パネルは車から見

えやすいように「交通安全ありがとう」とカラフルに大きく書かれています。
横断歩道で止まった車に感謝を伝える啓発活動は昨年からは山形県警で推進されていることから、小松さんのマイプロジェクトはメディアに大きく取り上げられました。
小松さんは「運転手のかたがお辞儀をしてくれたり、高校生からありがとうと言われたりするのが嬉しいです。朝早く起きるのにも慣れてきたので、できる限りこの活動を続けていきたいです!」と話してくれました。

挑め、ともに!

小国高校魅力化通信⑨

小国小学校 創立150周年

明治4年に小国小坂町に郷校小国学校として創立され、平成26年岩井沢に新校舎が建設された小国小学校が令和3年12月17日に創立150周年を迎え、記念式典が行われました。児童代表として高橋維武くん(6年)は「これから100年後、200年後も、どんな活動にもみんな協力して取り組み、笑顔がたくさん的小国小学校であってほしいと思います。」とあいさつしました。

式典後には、打楽器グループ「チアーズ」によるスクールコンサートが行われ、児童たちは大いに盛り上がりしました。



第21回山形ふるさとCM大賞

小国中学生 チームワーク賞受賞



第21回を迎えた山形ふるさとCM大賞が開催され、新たに新設されたスクール部門で小国中学生が授業の一環として制作したCM「小国あるある」がチームワーク賞を受賞し、主催する山形テレビから小国中学生制作チームに表彰トロフィーが手渡されました。

町が各小中高校へCMを募集したところ、小国中、小国高校の2校から応募があったため、町内審査会を開催し、小国中の作品を選出しました。ぜひ、町HPから小国高校のCMもご覧下さい。



◀CMはこちらから

令和2年度白い森の国ふるさとおぐにフォトコンテスト 町民の部 受賞作品介绍



優秀賞 「小国の春」 齋藤弥輔さん



優秀賞 「初夏の出会い」 舟山鮎美さん